

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会  
農学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）  
議事要旨

日時 平成31年4月24日（水）17:30～19:00  
会場 日本学術会議 5-D会議室  
出席者 池田委員、大杉委員、小田切委員、武田委員、南條委員、仁科委員、  
松本委員  
欠席者 経塚委員、宮崎委員  
事務局 犬塚参事官、高谷審議専門職、大澤審議専門職付

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
- 資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
- 資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
- 資料4 評価小分科会及び委員の役割
- 資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分  
Iの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の  
継続審査について
- 資料6 区分IIの研究計画の適否のチェックについて
- 資料7 農学分野の応募提案一覧【非公開資料】

- 参考1 小分科会委員名簿
- 参考2 報告「第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマ  
スタープラン策定の方針」
- 参考3 公募要領
- 参考4 学術研究領域コード表

議 題

1) 役員の選任について

互選により、委員長として仁科委員が選出された。その後、委員長によ  
り、副委員長として池田委員が、幹事として大杉委員及び小田切委員がそ  
れぞれ指名され、出席委員から承認された。

なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任するこ  
と、また、委員間でメールアドレスを共有することが承認された。

- 2) 利益相反についての考え方の確認  
研究計画・研究資金検討分科会委員でもある武田委員より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。
- 3) 評価小分科会における審議事項等  
研究計画・研究資金検討分科会委員でもある武田委員より、資料について説明があった。
- 4) 取りまとめの審議の方法の決定
  - ①本小分科会では、各委員による評価の後に行う、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1）を選択した提案を除く）の順位づけのとりまとめの審議の方法を、原則として、委員間でメール等による議論を行ったうえで、最終的な判断は委員長による一任と決定した。しかし、状況によっては、委員長の判断で、第2回小分科会を開催して、その場で審議することとした。
  - ②資料3に示されている項目評価の6項目については、いずれも重要なものであり同等に判断することとした。
- 5) 今後のスケジュール  
資料に沿って確認が行われ、評価小分科会委員の評価結果の事務局への送付締切を6月7日と決定した（資料1で6月17日とされているものを前倒しする）。また、必要に応じて、第2回小分科会を6月15日～30日のいずれかの日に開催することとした（前記4-①に関連）

文責 小田切